

## 【参考】◎ビブリオバトル(知的書評合戦)とは

・名称・公式ルール管理団体「ビブリオバトル普及委員会」

ビブリオバトル普及委員会は、全国でビブリオバトルに関する活動を行っているメンバーによる、非営利団体です。一般社団法人ビブリオバトル協会が事務局を担い、各地のメンバーが自主的に活動を行っています。全国各地で開催されるビブリオバトルの情報を公式HPやSNSから発信しているほか、公式ルールの制定、ビブリオバトルの名称利用管理なども行っています。(「ビブリオバトル」は、登録第5415288号により商標登録されています。)

・知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト:<https://www.bibliobattle.jp>

※サイト内「もっと知りたいビブリオバトル」はお役立ち情報満載です。ぜひご覧ください。

・概要

ビブリオバトルは誰でも(小学生から大人まで)開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。「人を通して本を知る. 本を通して人を知る」をキャッチコピーに日本全国に広がっています。大学のゼミ室から始まった活動ですが、現在は小中高校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェ、家族の団欒などで広く活用されています。

## ◎公式ルール(2022年4月1日より文言が改訂されています)

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本を『チャンプ本』とする。

【公式ルールの詳細】

- 1について
  - 1.1 他人から推薦された本でも構わないが、必ず発表参加者自身が選ぶこと
  - 1.2 それぞれの開催でテーマを設定してもよい
- 2について
  - 2.1 5分間が経過した時点でタイムアップとし、速やかに発表を終了すること
  - 2.2 発表参加者はレジュメやプレゼン資料の配布などはせず、できるだけライブ感をもって発表すること
  - 2.3 発表参加者は必ず5分間を使い切ること
- 3について
  - 3.1 ディスカッションの時間では、発表内容の揚げ足を取ったり、批判的な問いかけをしてはならない。発表内容でわからなかった点の追加説明を求めたり、「どの本が一番読みたくなったか？」の判断に必要な質問を心がけること
  - 3.2 参加者全員が、お互いにとって楽しい場となるよう配慮すること
  - 3.3 質問応答が途中の場合などはディスカッションの時間を多少延長しても構わないが、当初の制限時間を大幅に超えないように運営すること
- 4について
  - 4.1 発表参加者も投票権を持つ。ただし、自身が紹介した本には投票せず、他の発表参加者の本に投票すること
  - 4.2 チャンプ本は参加者全員の投票によって民主的に選ぶ。一部の参加者(司会者、審査員、教員など)に決定権が偏ってはならない

※参加者は発表参加者、視聴参加者よりなる。参加者全員という場合にはこれらすべてを指す。

## 会津図書館ルール

1. 会津図書館所蔵の本に限定しないが、マンガ・雑誌は不可とする
2. 発表での「ど忘れ・失敗・アドリブ」を大歓迎し、原稿の持込みはご遠慮いただく
3. 応募人数により予戦人数＝決戦人数になった場合、予戦での獲得票は決戦に加味される
4. 投票で獲得票が同数の場合は、再投票またはくじ引き等によりチャンプ本を決定する

